

政府が一番お金を使う“社会保障”って 一体何なんだろう？

社会的弱者を救済すること、それが社会保障だ！

人権のところでは「社会的弱者」については勉強したね。日本のような資本主義で経済を行っている国は“貧富の差”が生じて、社会的弱者が生活できなくなってしまう。そこで税金を使って救済しようというのが**社会保障**の考え方だった。どういう人を社会的弱者と言うのかももう一度確認しておこう(。>w・。)>

1. **病人や怪我人**：医療保険制度で保障
2. **高齢者**：年金制度、介護保険で保障
3. **低所得者**：生活保護で保障
4. **失業者**：失業保険で保障
5. **子ども**：児童手当、公立学校の無償で保障
6. **障害者**：障害手当、介護給付などで保障

憲法25条の生存権に
基づくんだよね！



① 社会保険

保険というのは、加入者から少しずつお金を集めてピンチの人に払う、という仕組みだ。例えば自動車保険。加入者が全員一度に事故に遭うことは考えられない。そこで1000人の加入者から保険料を集めて、事故に遭った1人にあげて助けるんだ。この保険の仕組みを政府が主導で行うのが**社会保険**。

- ・ **医療保険**：病気や怪我で通院する時に2割または3割負担で済む
- ・ **年金保険**：20歳以上が支払って、65歳以上の高齢者に支給される
- ・ **介護保険**：40歳以上が支払って、介護が必要になった時に支給
- ・ **雇用保険**：職を無くした時、一時的に給料分を支給される
- ・ **労災保険**：労働中に災害に遭った時に必要な費用を支給される